

# 往復 書簡

新たにスタートする「往復書簡」。このコーナーでは、「チャレンジレポート」で紹介された団体へみなさまから寄せられたご質問などに対し、その団体からの回答を掲載します。

みなさまの日頃の悩みを解決するための有益な情報を提供するコーナーになればと考えておりますので、多くのお声をいただきますようお願い申し上げます。

今回は2009夏（第46号）で掲載した特定非営利活動法人フローレンスへの質問を取り上げます。「病児保育」は働く親にとっては欠かすことのできないセーフティネットです。

なお、投稿につきましては、挟み込みのアンケート用紙またはEメールをご利用ください。みなさまからの投稿を心よりお待ちしております。

✉ [ikiiki@wam.go.jp](mailto:ikiiki@wam.go.jp)

**Q** こどもレスキュー隊員の1か月あたりの給与はどのくらいになりますか。また、能力向上のための研修をされるにあたり、どのような工夫をされているのですか。

（大阪府Kさん、東京都Iさん）



**A** こどもレスキュー隊員は、2つの働き方があります。

週4日から5日の勤務をしていただく『病児保育ケアビルダー』と、週2日程度勤務をしていただく『地域レスキュー隊員』の2つです。ケアビルダーは固定給で、週5日勤務で17万円、地域レスキュー隊員は、時給制となり、時給900～1300円が1か月あたりの給与水準となります。

こどもレスキュー隊員の能力向上のために、一人前のこどもレスキュー隊員としてデビューした後も、病児保育の知識を増やしよりよい保育をしていくためのブラッシュアップ研修を不定期でとり行います。

具体的な研修内容としては、消防署による救命救急実習、腰を痛めない保育の仕方などがあり、また週に2回程度、こどもレスキュー隊員が集まって日頃の保育事例などを共有するケース会議を実施しています。

**A** 病児保育を利用するお子さまの情報を事前に頂いており、それをこどもレスキュー隊員としっかり共有することで、訪問するまでにどんな遊びが好きか、お昼寝のタイミングなど、お子さまが一日を快適に過ごせるよう、サポートしています。また、どの隊員がお伺いするかということに関しては、単にご自宅との地理的な条件だけでなく、お子さんの体質や性格はもちろん、過去の担当履歴、訪問タイプ/在宅タイプのご希望などを考慮し、選定させていただいております。

病児保育の特性上、季節変動が激しい上に、緊急性、突発性の高いものであることから、必ずしも同じスタッフをマッチングさせていただくことは難しいのですが、上記のような工夫をすることで、どのこどもレスキュー隊員がお伺いしても安心・安全の病児保育を提供できるようにしています。

**Q** お子さまとこどもレスキュー隊員との相性のよしあしを含め、人見知りなどはないのでしょうか？

また、体調の悪い時ほど親に会いたがる傾向がありますが、その際にはどのような工夫をされていますか？

（徳島県Tさん、岐阜県Yさん）

